# SAFETY

## 「e-Assist」をはじめ、高水準の安全技術を搭載。

あなたの安心、未来ドライブ
「e-Assist」

事故の危険を検知してドライバーに知らせるとともに、
被害を回避・軽減できるようサポート。
できる限り事故被害を減らし、安全運転を続けてもらうために生まれた、
先進の予防安全技術です。

### 低車速域衝突被害軽減ブレーキシステム[FCM-City]

低速走行時、前方車両との衝突の危険がある時は、警報で注意喚起するとともに自動ブレーキで、衝突を回避、または衝突被害を軽減します。

※雨天時にもワイパーで払拭すれば作動します。

低車速域衝突被害軽減ブレーキシステム
FCM-City
FCM=Forward Collision Mitigation system

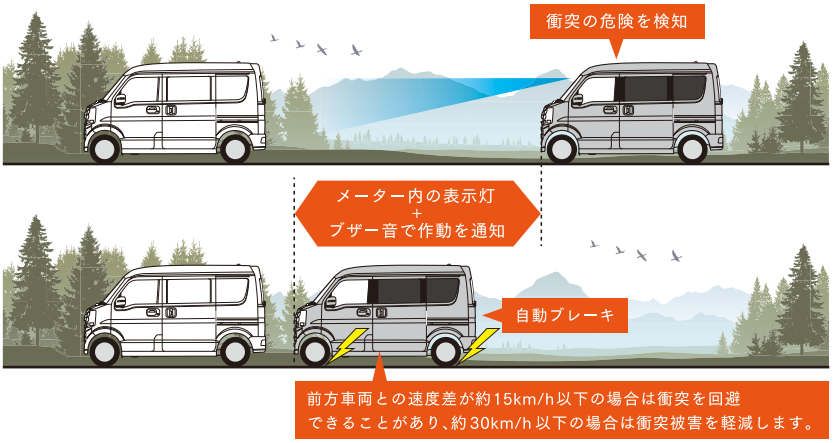
**作動条件**

■低速走行時(約5～約30km/h)
■前方車両をレーザーレーダーが検知し、衝突の可能性がある場合
■ドライバーがハンドルを切るなどの回避行動をしていない場合

※低車速域衝突被害軽減ブレーキシステム[FCM-City]作動時は強いブレーキがかかります。安全のため、全ての乗員が必ずシートベルトを着用していることを確認してください。
※停止保持機能がないため、停止後2秒以内でブレーキは解除されます。停止を続ける場合は、ブレーキペダルを踏んでください。

**低車速域衝突被害軽減ブレーキシステム[FCM-City]/誤発進抑制機能 OFFスイッチ**

「FCM-City/誤発進抑制機能 OFFスイッチ」を長押しすると、「FCM-City」および「誤発進抑制機能」の作動を停止することができます。また、「ASC OFFスイッチ」を長押しすると、「ASC」と合わせて、「FCM-City」および「誤発進抑制機能」の作動も停止します。

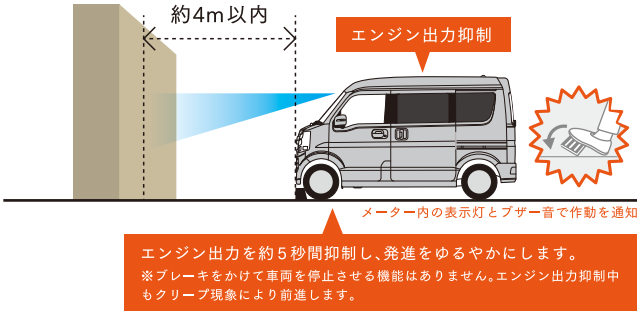



### 誤発進抑制機能

前方に障害物を検知している状態で、踏み間違いなどの操作ミスによりアクセルペダルを素早く、強く踏み込んだ場合は、警報とともにエンジン出力を抑制。発進をゆるやかにし、衝突被害を軽減します。

**作動条件**

■停車～約10km/h での走行時
■前方(約4m以内)の車両や障害物をレーザーレーダーで検知している場合
■アクセルペダルを素早く、強く踏み込んだ場合
■ドライバーがハンドルを大きく切るなどの回避行動をしていない場合




⚠〈低車速域衝突被害軽減ブレーキシステム[FCM-City]、誤発進抑制機能について〉●対象物、交通(急な割り込みなど)、天候(雨・雪など)、道路状況(連続するカーブなど)などの条件によっては正常に作動しない場合があります。●ドライバーの安全運転を前提としたシステムであり、衝突被害を軽減することを目的としています。検知性能、制御性能には限界があります。これらの機能に頼った運転はせず、常に安全運転を心がけてください。●ワイパーブレードの劣化などによりフロントウインドシールドガラスの汚れを払拭できない時、著しく天候が悪い時は、作動しない場合があります。●ご注意いただきたい項目がありますので、必ず取扱説明書をお読みください。●詳しくは営業スタッフにおたずねください。〈低車速域衝突被害軽減ブレーキシステム[FCM-City]について〉●ハンドル操作やアクセル操作による回避行動を行っている時は、作動しない場合があります。●前方車両に対して作動します。二輪車・歩行者などは作動対象ではありませんが、状況によって作動する場合があります。〈誤発進抑制機能について〉●ガラスの壁面(ガラスドア/ショーウインドウなど)や網目状のフェンスなどレーザーレーダーが反射しない場合は作動しません。●誤発進抑制機能は、車両の停止状態を保持する機能はありませんので、周囲の状況に応じてブレーキペダルを踏んでください。